

業務の新聞

第73号

2021年 2月 26日

「大成果です！」

「4月からシーツ類交換が“毎日”になります！」というメールをエルダー組合員から頂きました。

会社は、「新型コロナウイルス感染予防に関しては、グループ会社とともに進める」としていますが、マスク配布等では「否定的な現実」に直面している仲間たちが多くいます。そんな中で「おかしいなー？」「何とかなんないかなー？」と職場から仲間たちの声が伝えられたことが取り組みの端緒でした。グループ会社でのことであり、東京支社の対応は芳しくありませんでした。「職場の予算」「グループ会社」など高い力がいましたが、職場で管理者も交え“改善”に取り組んだことが今回の成果に結びつきました。この大きな成果を確認しましょう！

職場で検証しよう！

皆さん！本部発出のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染予防に全力で取り組みましょう！

では職場に目を転じると現状はどうでしょうか？マスクは配布されていますか？シーツ類は毎日交換していますか？“共同スペース”的換気・消毒はされていますか？ソーシャルディスタンスは守られていますか？気になるところはありませんか？「しょうがない！」「まついいか」とあきらめていませんか？

『新たな生活様式』が模索されています。“否定的な現状”を克服し、社員や家族が安心できる内容にしていかなければなりません。職場・業務や生活を知る私たちが知恵とチカラを発揮する大チャンスです、頑張りましょう！

3月ダイヤ改正

3月13日にダイヤ改正が行われます。各労働組合との「ダイヤ改正交渉」も終わり、各職場ではダイヤ改正に向けた“枠外訓練実施”や“配布物のチェックと印刷”などで担当者は大忙しになっていることでしょう。

ダイヤ改正はあなたの声や思いを反映されていますか？職場にあなたの声や思いを発する場がありますか？職場であなたの声を聞く“管理者”はいますか？

「選ばれし方々!!」によって運営されている各職場でのプロジェクトは、大きなチカラを發揮したことでしょう。

ダイヤ改正に関して内容・企画・運営などについて考えましょう！

思いつくままに

新幹線の速度向上！速達性の実現！とされています。では東京駅→新庄駅→余目駅は山形新幹線開業時より何で時間がかかるのでしょうか？

「経営」「利用状況」などなど私たちの考えが及ぼないモノがあって“ダイヤ”が決定されているでしょう。しかし、なぜ開業当時と比して在来線への乗換時間がかかるのでしょうか？儲からない“田舎”は切り捨てられるしかないのでしょうか？

『田舎のバス会社』の話を聽きました。「客が減ったので便数を減らした、不便になりまた客が減った、経費節減でまた便数を減らした、ついにはお客様もバスも会社も無くなつた…。」

あなたの“田舎”は大丈夫ですか？